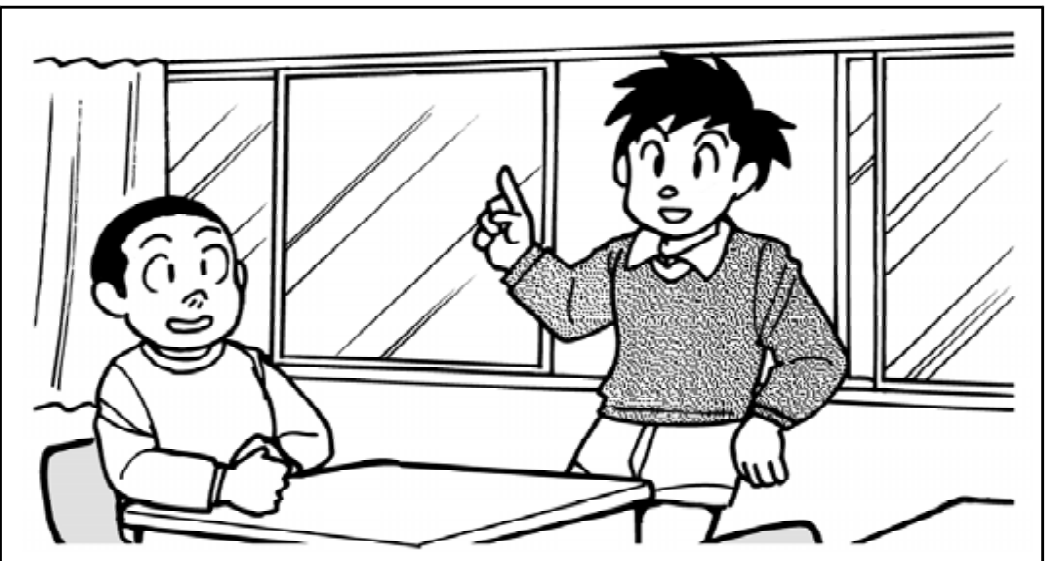


敬語の種類

年 組 名前

六年生の岡田君にクラスメートの大石君がクイズを出しています。「行く」という言葉が変身するというクイズらしいです。どういふことか考えてみましょう。



「大石君」『行く』という言葉を変身させることができるかい？
 「岡田君」『行く』って、学校へ行くとかの行くだろう。変身させるってどういふこと？

「大石君」『変身させるといふのは形を変えるといふことだよ。例えば、【行く】に【ます】をつけていらんよ。』

「岡田君」『行きますじゃおかしいから、そうか、【A】だ。』

「大石君」『そう、言い方がていねいになっただろう。敬語の一つでていねい語といふんだよ。それから他にもあるよ。やっぱり【行く】の【下】に【れる】をつけるんだよ。』

「岡田君」『わかった。【B】だね。』

「大石君」『そうだよ。今度は、相手に対して敬う気持ちを表しているんだよ。こういう言葉を敬語の敬語と言っただよ。【行く】の敬語には、【いらっしゃる】という言葉もあるよ。』

「岡田君」『なるほど、そういえばほくも一つ知っているよ。確か自分の方を相手よりへり下って言う言葉で。』

「大石君」『それはけんじょう語だね。そうすると【行く】は先生の家へ行く【C】先生のお宅へ【C】といふように変身するんだね。』

1、さて、AからCまでの言葉は何が入るのでしょう。【行く】を変身させましょう。



2、他の言葉も、ていねい語・尊敬語・けんじょう語に変身させることができます。次の 中 において はまる言葉を入れましょう。

- (普通)の言葉 () (ていねい語) (尊敬語) (けんじょう語)

言う 言います 言われる・おっしゃる

食べる 食べます 食べられる・

・いただく

ねらいと活用のポイント

一、ねらい

- ・ 敬語には、三つの種類があることを知る。(丁寧語・尊敬語・謙譲語)
- ・ 敬語の三つの種類を場合によって使い分けることを知る。

二、指導のポイント

動詞の敬語の三つの種類を、「動詞の変身」という言葉で表現し、児童が敬語に親しむことが出来るよう留意しました。

ここで示した問題以外にも、

(普通語)	(丁寧語)	(尊敬語)	(謙譲語)
見る	見ます	見られる・御覧になる	拝見する
聞く	聞きます	聞かれる・お尋ねになる	伺う
する	します	される・なさる	致す

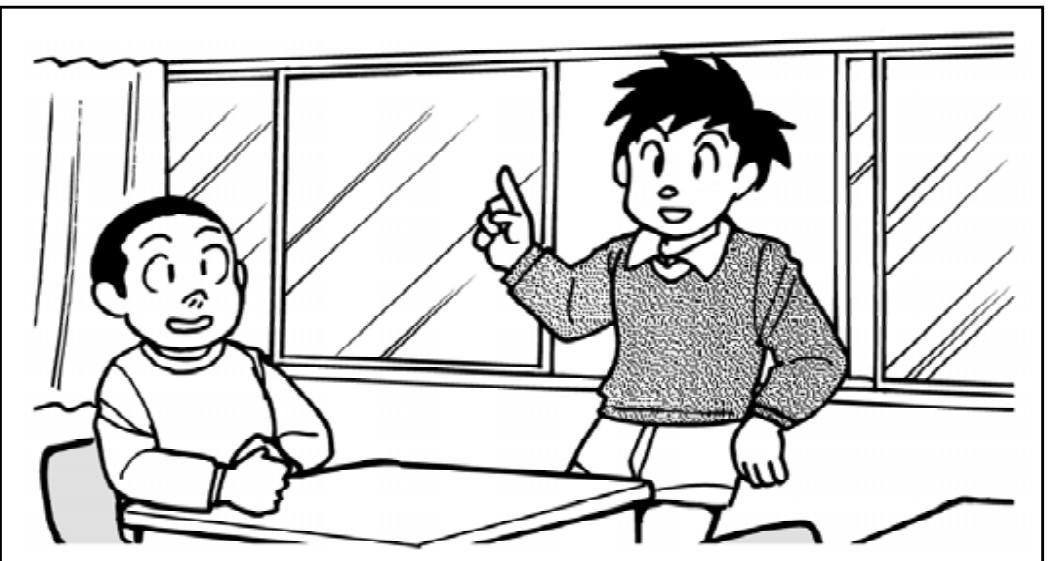
などを使って問題を作成することも可能です。

またこの敬語の種類に関する指導においては、丁寧語・謙譲語は、主に自分の行為に敬意を込める敬語であり、尊敬語は、相手の行為へ敬意を込める敬語であることから、実際の文章を合わせて指導することが望ましいと思われます。

敬語の種類

年 組 名前

六年生の岡田君にクラスメートの大石君がクイズを出しています。「行く」という言葉が変身するというクイズらしいです。どういふことか考えてみましょう。



「大石君」『行く』という言葉を変身させることができるかい？
 「岡田君」『行く』って、学校へ行くとかの行くだろう。変身させるってどういふこと？

「大石君」『変身させるといふのは形を変えるといふことだよ。例えば、【行く】に【ます】をつけていこうよ。』

「岡田君」『行きますじゃおかしいから、そうか、【A】だ。』

「大石君」『そう、言い方がていねいになっただろう。敬語の一つでていねい語といふんだよ。それから他にもあるよ。やっぱり【行く】の下の【れる】をつけるんだよ。』

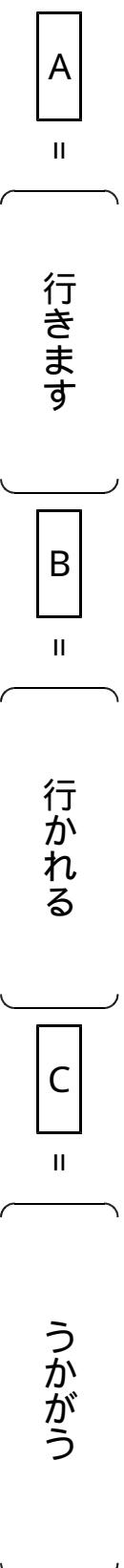
「岡田君」『わかった。【B】だね。』

「大石君」『そうだよ。今度は、相手に対して敬う気持ちを表しているんだよ。こういう言葉を敬語の敬語と言っただよ。【行く】の敬語には、【いらっしゃる】という言葉もあるよ。』

「岡田君」『なるほど、そういえばほくも一つ知っているよ。確か自分の方を相手よりへり下って言う言葉で。』

「大石君」『それはけんじょう語だね。そうすると【行く】は先生の家へ行く【C】先生のお宅へ【C】といふように変身するんだね。』

1、さて、AからCまでの言葉は何が入るのでしょう。【行く】を変身させましょう。



2、他の言葉も、ていねい語・尊敬語・けんじょう語に変身させることができます。次の 中 において はまる言葉を入れましょう。

(普通)の言葉 (ていねい語) (尊敬語) (けんじょう語)

言う 言います 言われる・おっしゃる 申す(申し上げる)

食べる 食べます 食べられる・ いただきます

めしあがる

